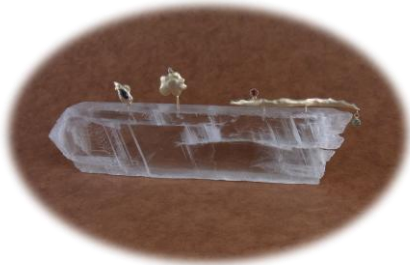


<BIZは変化し続ける>

美しく楽しいモノを作りたい、という気持ちは変わらない。ただ、その内容が変化している。身に着けるものだけでなく、材質もこだわりを捨て生活の中にこんなものがあるのも楽しいかもと思えるものを創ってみたい、と考えるようになった。堅く言えば生活の質の向上、身近なところでの美しい物の提案ということかもしれない。そんな気持ちで作ったのがこの二つの置物。絵画や花を愛でるように部屋に置いてみよう。まず鑑賞に堪える美しい石探しが一苦勞。やっとの末に入手した原石にいくつものプロセスを経て仕上がったもの。置いた途端キラキラ輝く透明な光が部屋を明るく射し広がったのだ！これにはシマダも大変な驚き。やはり石の力か。



セレナイト (メキシコ)  
 閉山になった洞窟の希少石  
 パライバトルマリン・サファイア・スピネル  
 ダイヤ・K10



水晶 (ブラジル)  
 全体が太鼓橋のようにカーブした見事なフォルム  
 パライバトルマリン・G ガーネット・アウイナイト  
 ルビー・ダイヤ・K10

<ホームページ完全リニューアル>

画像も美しくよりアクティブなHPの誕生です。日本語原稿に英語版が加わりました。(I J T国際宝飾展で白人女性に指摘されました。英語部分を入れたほうがいいわよ、と) 遅れ気味なので5月末頃に<BIZ島田節子>と入れてみて下さい。

<初夏です!!!>

陽射が日増しに強くなる。近頃見れば買いたくなるもの。ブロッコリーと春キャベツ。それにクレソンとアスパラ。冷蔵庫にあるのにまだ買いたい。色々なレシピを探してはキャベツとブロッコリーの日々が続く。ある日“潮干狩りの季節！”と浅利、蛤が加わる。やがて“春キャベツと浅利”のレシピ発見。庭には儂げな色のバラの根元に遠い昔に植えたアスパラがすくすくと。これでクレソンとアスパラのサラダ完成！これも凍える寒さを超えた賜物と感謝。幸せ度も更に増す。



## <一人旅>

海外での一人旅は心細い。十分に通じない言葉。現実に欠落する幾つもの能力ゆえの不安。今日一日何をするか、どこへ行き何を食べるか。物見遊山はないシマダ。美術館に行くことは多い。後はその地域のありようを眺めひたすら歩く。都会でも途上国でもそこに生きる人の姿を眺める。何国人でも何者でもない、ましてや肩書も職業もない透明人間のような存在。常に危険を意識し、不安、心細さの中でそれでも群れず自分の眼で見る。すると大勢のなかでは気付けなかったことも見えてくる。孤独のなかの爽快感。今、大英博物館をもう一度見たいと考えている。するとついでにコッツウォールあたりのイギリスの原風景にも。いやスコットランドのウイスキー文化にも会いたい。さて、どうしよう。それに、アメリカの大学で数学を教えていた日本の先生、イギリスで空港からタクシーに乗って運転手が何を言っているのか分からなかったというコワーイ話が頭をよぎる。



## < B I Z の仕事場 >

B I Z の仕事場はシマダの住居の一部にある。建物は築50年を優に超え、数寄屋作りというらしい。職住別も考えたがコンクリートの箱にしているのは息苦しい。ここでは襖、雪見障子、京壁に囲まれ、古いこともありいつも空気が流れ、隙間だらけなので冬は寒い。震度6の地震で崩壊すると言われたが手はいれないことにした。白いテーブルと赤いソファのお客様スペースと仕事場との境は簾のみ。作品の展示は青山の初個展で使用したポイド管（建築資材）の上にこれも建築用の天然石に置いたアクリルケース内に。立派なものは何もない。ここが寛ぐの到来客は押しなべて長居になる。海外の方が見えた時には“Fantastic! Beautiful! Amazing!”と大騒ぎに。極力手を加えず僅かな改装ですませたのがよかったのか、日本家屋の優しさが心を落ち着かせてくれる。



## < 要らなくなった結婚指輪 >

この指輪もう要らないから売っちゃおうか、と妻。そりゃないだろ、と夫。と見せられた結婚指輪。すぐデザインを思いついたシマダ。2本のプラチナのリングを繋ぐイエローゴールドの長い時間の架け橋。リングの裏には二人の名前と記念日が刻印されている。余り派手を好まない方なのでブルーサファイアのみをアクセントにあしらい新しいお二人の記念品に変化。後日お嬢さまの海外での挙式に身に着け、娘達にその由来を語り聞かせたという。売るつもりが二人の絆になり、楽しい報告に。

